

発行責任者 柳 利夫
 住所 東村山市萩山町5-6-26-301
 Tel. 0423-92-8808
 編集者 川村 英明

秋季市民庭球大会を振り返って 武谷直也

天候に恵まれ予定通り10月12日の混合ダブルスを最後に今大会も無事終了致しました。

今大会の特徴の一つは、男子シングルスに新たにBクラス(初心・初級者クラス)を設けたこと、二つは、エントリー数などの種目も増え全体として昨年の約2割増しであったことが挙げられます。「市民テ」の参加について見ますとほぼ例年の比率でした。何かと行事の多い秋は、参加しにくい面もありますが、貴重な練習時間が大会のため取られてしまうことなど考えても、もっと積極的に参加するよう心掛けて頂きたいと思えます。

試合の内容について一寸ふれておきます。どの種目もほぼ例年の顔ぶれが上位入賞という結果になりましたが、技術的にそんなに大差はなかったように思いました。唯、男子シングルスでは、「市民テ」の選手の年齢が相対的に高いことと、日頃シングルの試合をする機会に恵まれていないことなどから、粘りに欠ける面があったようですが、これとて比較的若手がもう少しふんばれば上位入賞の可能性は十分にあるといえましょう。その奥男子Bで江藤君が2位になったのはあっぱれといえます。女子シングルスは逆に相手のボールを唯返すだけで相手のミス待ちの場面が多かったように見えたが、これも日頃の練習の心掛け一つでまだまだ克服可能だといえます。(もっと深く、もっと角度をつけるよう意識的に練習することが大切です。)ダブルスは相対的にボールをしずめることが十分でなかったようです。特に男子ダブルスの場合は単調に強打しボールが浮いたところをボレーで決められたり、打ち過ぎからミスをするという自滅が多く見られました。ダブルスでは軟式のような障型であろうが二人共ネットにつく障型であろうが、浮いたボールをいかに相手に打たせるかが重要な戦略ですから、もっと相手の処理しにくいところ(例えばボレーマンの足下)に正確にプレースメントする練習を日頃心掛けるべきでしょう。

最後に大会への申し込みで気付いた事について述べます。申し込みは練習コートで行なう、参加費はそのときちんと払うことは今では「市民テ」のルールになっています。しかし、今大会の申し込みでは若干それが乱れ、特に参加費の未払のことで硬直連に迷惑をかけてしまいました。今後申し込み様式を改善しそのような事態を招かないようにしたいと思えますが、会員の皆さんの御協力も是非お願い致します。



たくさんの方から原稿をいただきましたが、我が市民テの男女の力関係から、今回は女性特集といたしました。次号に男性の原稿を掲載いたしますので、悪しからず、次号も御期待ください。
 <広報部>

§秋季市民大会に参加して§

思多クラブ 吉永 差子

今回のダブルスの試合は、私達にとって春の大会以来二度目の出場でした。春の大会の時とはなにして試合に出るといふ事だけで大事件でしたので、特に最初の試合が終わった後でも、手足が小刻みに震えていたのを昨日の事のように思い出されます。今回はその分少しは楽な気分で立ち向かえるのではと期待したのですが、やはり試合独特の雰囲気にも呑み込まれたようで、第1試合ではスコアこそ良いものの、悔いの残る試合をしてしまいました。しかし何といつても一番印象に残ったのは、3試合目の対坪谷・渡辺戦でした。初めから勝敗云々より、「どれ位戦えるか思い切りやってごらん」という諸先輩の励ましを受けコート上を軽やかに走り回ったつもりですが結果は1ゲーム取れただけでした。ただ不思議な事に完敗した悔しさよりこの経験でむしろ今まで楽しさのみでやってきたテニスからもつと違つたテニスを目ざしたいという思いが私達の中に芽生えた今回の試合でした。

美住クラブ ハ木 洋子

思多クラブの宮崎さんとペアを組むことになり当日朝、比較的早くからコート入りしていた。天気はまったくの快晴でそれだけに日光の直射はさげられずきびしい。対戦相手は木屋会、ネットの御対面の時、「先日はどうも...」と三日前久米川コート横の町田宅玄関口ですれ違い会釈を交わしたことを思い出し、気持がなごむ。6:1でリードされ、その直後相手ボールが宮崎さんの右眼に当たるアクシデントに私の気持までも散漫に。そのままあちらのペースでゲーム進行。結局1ゲームしか取ることができず試合終了。私はたぐいして一本調子になり、とんでくるボールの縁起にうまく合わせられなかつことが敗因でもあるし、今後の課題である。

「試合」とは 本町クラブ 三安 寿子

私にとってなんだろう？1回戦位は勝ち進もうという意気込みでいどんでいるのだが、常に結果は同じ。でも楽しんでやれるゲームと後味の悪いゲームとがあるが、今回の試合も又々ファーストゲームの本部前コートにもかかわらず、リラックして私なりに楽しんでプレーできたことが救いであった。敗因はなんといつても練習不足あるのみで当日の早朝、家の前の公園で主人に特訓を受けたサーブだけはミスがなかったことが嬉しかった。反面ストロークがお粗末で練習不足であった。土曜日も月1回位しか仕事の間で練習できないのだからいかんとしがたい。でも来春を目指してストロークを基本に戻ってやり直し今度こそ1勝を期してGo! ファイトファイト!!

鬼多クラブ 山口 悦子

「ああ 無情!」
勝負は時の運〜なんて燃えてみたけれど、長いと思った「8ゲーム」もあったという間に「ゲーム・セット」...なんと憎らしい声の響きだろう。ラケットを手にしていったい何年になるのだろうか?最近の方達の目ざましい活躍ぶり、ただおろおろするばかりである。

最悪の要素、ダブルフォルト・レシーブミス・ロブのミス。ミスはミスでもハイミセスの私には何人とも度因な限りである。これでは勝つ見込みがなくなし。

テニスは頭で勝負するものなのよネ。ただボカんと強打していてもダメなのよネ。

努力なくして成功ならず...あせらず、たゆまず、おこたらず...身にしみて感じてマ〜ス。モットモット翔んで、翔んで—今度こそはメダルを手にしてみたいと考えてマ〜ス。そして何年後かには、細々とした容姿で、カツコよく打っている自分を夢見ているのです。(ムリムリなんて言っていて笑っているのはダレかしら?心ある方は是非協力も!)

青葉クラブ 儀間 加代子

「参加することに意義あり」と奮められ、凝りずに秋の大会に出場しました。今回、固らずし市民テニスのファイトの持ち主田畑さんとペアを組むことになり、まず1回戦を勝つことを目標に練習しました。田畑さんには日頃きたえた足とファイトがあり大変心強いのですが、私のドクバタテニスでかえって迷惑をかけるのではないかと悩みました。組むことが決まったからには、ドクバタでもいい、走ってボールを拾いミスは最少限にしなければと思い努力しました。1回戦より2回戦の方が落ち着き、度胸もすわり伸び伸びと試合ができたように思いました。信頼できるパートナーがこの時ぞと思い切り動いてくれました。コートに向う側から「お母さん、勝ってネ!」と声援してくれる息子のための頑張らねばと思ったり...3回戦は完敗。相手の実力と実力は見事なものでした。リードしていたが追いつけられなかったゲームもいくつかあり私達の未熟さを痛感させられ、大いに勉強になりました。幸い3回戦まで進む事ができ、私にとっては初めての2勝で嬉しい限りでしたがまたまた動きが判らず、相手にチャンスを与える、サーブが遅いこと等今後の課題です。これから又練習に励み、これらの欠点を少しでも解消したいものです。

スポーツ医事講演会

11月14日に開催

冬場に向けてとかく身体が固くなり勝ちで、コートでも障害がおきやすい時期です。

当市硬庭連は、テニス愛好者に「いつまでも楽しいテニスをやってみよう」と、スポーツ医事についての講演会を次の要領で開催します。

11月14日(金)・16:30~21:00

於・市民センター・2階大ホール

講師・①市体協スポーツ医事部長 徳島 馨 先生

② 佐藤長弥 先生

多勢の皆さんのご参加をお待ちしています。

美住クラブ 石黒 安子

秋空の下、女子ダブルス戦。私もラケットを持って九ヶ月、日頃の練習成果と自分の力を試すつもりで参加。前夜は、「明日はサーブが入るかしら、レシーブが返せるかしら」等いろいろ考へ眠れませんでした。30番江原・石黒ペアAコートへお入りくださいとコールされた時には「ヨシ!メオンコートだ。場所には文句なし技術が駄目なら気力と体力で頑張ろう」と決心してコートに入りまし。

幸い良きパートナー(同じ3番コートで練習の江原さん)の大活躍で思いもかけず8-0で1勝できました。これも日頃コーチを始め、諸先輩の方々の御指導のものと感謝しております。江原さんは練習時間が短いにもかかわらず、素晴らしいプレーを發揮して頑張ってくれました。2回戦は強敵小平クラブの古川・吉永ペアと対戦6-3で敗れましたが精一杯戦いとても良い勉強をすることができました。この敗因をよく反省し、これからの練習に、来春の大会を目標により一層努力したいと思っております。一に練習ニに練習三、四がなく五に練習あるのみです。技術シリーズで試合コーチが記されているように「とりあえず返す戦法」も頑張つて身につけたらと思っております。秋の大会に参加し、本当によかった!秋の日の思い出として私の脳裏に深く刻み込まれています。



お知らせ 新入会希望者の受け入れについて

—事務局—

東村山市民テニスクラブ協議会の昭和56年度の新入会希望者の受け入れ時期が近づいてまいりました。会員の皆さんのご家族やお知り合いで入会希望の方が居られましたら、下記の要領で申し込んで下さい。

- (1) 入会資格は東村山市在住の方に限ります。
- (2) 申し込み手続は必ず本人がコートに来て行って下さい。
- (3) 申し込み用紙は、柳会長が常時携帯していますが、各クラブの会長に申し出て戴ければ受付ます。
- (4) 申し込みに当たっての登録事項は
 - ① 氏名 ② 住所 ③ 電話番号
 - ④ 勤務先 ⑤ 生年月日 ⑥ テニス歴(軟式硬式別)
- (5) 入会金2,000円と会費4,200円(月額700円×6ヶ月分)合計6,200円を納入して下さい。
- (6) 受付期間は12月1日(月)より12月22日(日)まで、厳守です。

柏崎軟庭チーム来市

昨年軟庭も柏崎市との交流試合をはじめ、初回は当東村山チームが柏崎市へ遠征しました。

今年は第2回目、柏崎チームが10月25日(土)・26日(日)の二日間当市へやってきました。初日は両チームの対抗試合、二日目は交流試合を快晴に恵まれた秋空の下で和やかに展開し、いっそうの親睦を深めました。

私とテニス <No.36>

本町クラブ 江下洋

北九州の片田舎、小学校高学年のとき、高校教師を父にもつ友達が、ラケットとボールを見せてくれて、テニスとはこれが本家だと教えてくれた。早速、その父親の高校のコートで打ってみたが、うまく打てる訳がない。それでもボールを追っかけているうちに、ボールの重みか何となく手に残る硬式テニスは新しい世界として心に残り、中学、高校とがろうじて進むうちにも、チャンスがあればぜひやりたいと思いはつの一方向だった。が、当時は軟式全盛時代、なかなか硬式を教えてくれる所がなく数年経過した。時の流れと共に居場所もかわり、そして宮崎、太陽と緑と神話の園という観光用のキャッチフレーズを御存知の方もおいででしょう。

ここでやっと教えてくれる所を見つけ、即、おしかけ入部、その日の夕方3時頃から直径1米位の夕日が平和台(八幡一宇塔)に沈むまでの短い間、板打をやらせてもらった。グランドストロークがなんとかやれるようになった3ヵ月目、飯(宴会その他酒がつく会合を言う)の流れ、いわゆる二次会に行ってホルモン焼(金網の上に香辛料に漬けこんだもつを炭火で焼いて食べる)と焼酎にも新しい世界を見つけ、ついに浮気、今迄の夕日が沈む迄の魅力よりも、夕日が沈んだ後の赤チェーンが魅力になってきた。とかく男、酒と女と金には気持が動くもの、あえて理由をつければ3000円で買ったテニスシューズをはきつぶしたことにでもしておこう。2000円で買ったラケットは、ピンピンしたもの。

そしてまた数年、もしかしたら十数年、東京は久米川の運動公園、そろそろ酒にも飽きかきて、ほかにやることもなく、ひまつぶしに行ったら、皆様お楽しみの真最中、ひょっとしたら又テニスがやれるかも知れないと、コート入口迄行ったとき、出てこられたのが現武谷技術部長、風采坊の様な姿をしていた私にもかかわらず、親切に柳柳長現会長の電話番号を教えていただき、次の日曜日の朝早くあつかましくも、電話をさせていただきましたところ、道具はあるかとの間に、ラケットだけと云う返事をしたところ、靴を買ってすぐコートに来いとの話、確か朝8時頃、あわてて久米川に行き運動具店をさがし、テニスシューズを買い、ジープにセーターで公園コートに行ったところ、入会テストがあるとの話、テストは実技テストで、柳会長自身で行なっていたいただきましたが、どうにもこうにも数年振りのストローク、おろんOKがでるわけがないとがっかりしていたところ、酒は飲めるかとの質問、公にはしたくないが、酒はテニス以上に自信あり、もちOK、それならば入会OKとの事、酒でやめたテニスが酒で又よみがえった不思議な話。これも知る人ぞ知る、クラブ東住?か東住クラブかと云われた時代の事と感謝いたしております。

それから数年腕の方は相もかわらずさっぱり、それでも面倒を見ていただいているのは皆様の心の広さと心から感謝しております。今後とも何卒よろしく御指導をお願いいたします。最近にせつかく教えていただいているテニスにもかかわらず、春と秋の試合、その他の企画等、会社の行事と重なりが多く、参加できず非常に残念に思っております。よろしく御了解の程、お願い申し上げます。

技術シリーズ No.1 (その3)

武谷千枝子

- 84. 攻撃 自分のペアが押したボールを打った時は積極的にポーチに出る。
- 85. 守備 ペアが逆にコートから追い出され、一生懸命ボールを拾っているようだったら、感心して見てばかりいなくて、次のボールに備え、フォローするために、中央後に下がる。相手が上手なチームだと、なかなか前衛にかけられるボールを打って来ないので、前衛は動くだけで、何も働けない事が多い。更に動きすぎて、パッシングをどんどんされてしまうようならとりあえず、の精神で前衛はネットにピッタリつき、サイドを守り、じょくりとチャンスが来るまでがまんする。
- 86. 目は常に相手の前衛の動きを追う(自分のコートにボールがあるとき)。初心者は、ボールばかり気になり、目がボールを追いかけて、やもすると自分の後ばかり見ている人がいる。自分の後に行ったボールはペアを信用して後に任せ、自分は相手のネットマンの動きを見て、相手が打って来たボールをフォローする事を考える。

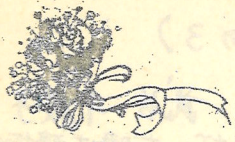
5. 試合中の心構え

- a) 一球一球をおろそかにしない。常に、もう一つ、もう一つと考えながら、ポイントがしっかり決まるまで集中する。
- b) 当りが悪くミスが多い時
足が動いているか、ボールを良く見ているか、膝が曲っているかを点検し、常に自分にいい聞かせる。
- c) 相手にリードされてしまった時、決してあきらめない。5-1から挽回して勝つ事はいくらでもあるし、逆にそうされた事も沢山経験しているでしょう。
- d) リードしているのに追われてびびって来た時
相手はリードされもつとびびっているのだと思ひ、積極的にボールをとりに行く。積極的という事は、無茶苦茶に攻撃するという事ではなく、後衛はじょくり繋ぎ、ネットマンはチャンスを窺うということである。

以上まだ作戦やアンティシペーション(予測)などで書き足りない事はありますが、それらは私の今後の研さんに待つことにして、今まで述べた事を確実に身につけていけば、東村山はおろか、全国レディースだって、そこらのトーナメントだって優勝まちがいなしというところですよ。私もうは易く……。いつも反省ばかりしているのですが、いざとなると忘れてしまうのです。目下これらにむかって練習中です。



コートより当番です
寒の中大変ですがよろしく。
東住 B 11月に12月分を
思多 A 12月に1月分を
本町 B 1月に2月分を



おめでとう!!

武谷千枝子さん

— 第2回レディースカップ大会東京大会で美事優勝おめでとございます。素晴らしい結果でよかったですね
 武谷 有難うございます。オトオチキンはじめいろいろな方にお世話になりました。あらためてお礼を言わなくてはなりませんね。

— レディースカップ大会についてお話ししていただきたいのですが...

武谷 朝日新聞主催でミスと独身女性なら30才以上という制限があるところがミソで、全国のテニスを愛好するオバサンが一堂に会するという大会といえますね。昨年は仕事の折り合いがつけられず見送ったのですが今年はいまうまくいってくれ参加でき、そのチャンスを実らせることができて嬉しいですね。この大会の優勝の足がかりは毎日トーナメントの城北地区大会で優勝したということが私自身にとっても大きな伏線になっていた気がするんですよ。

— それでは毎日トーナメントのこと話してください。この大会に勝ったことの方が嬉しいと話していらっしやいましたけれど...

武谷 そうなんですよ。レディースカップが朝日新聞で4段子真入りで報じられたものだから皆さんにこちらの親いを言われますけど、私自身としては、むしろこの大会に勝ったという方が意義があつて嬉しいのです。なんといつても毎日トーナメントは、一般・学生も含めた大会ですから格はずっと上ですからね。地区大会(東京毎日トーナメントは5ブロック)、予選は全日本クラス、本選はプロ級がエントリーといったもので、まったく大会自体が性格がちがいます。8月14日からほじまって8月末まで今年の夏休みの後半は、この大会にかけたようなものでした。城北地区で優勝した過程では、関東インカレの学生ペアを破ったり、決勝戦は、昨年のレディースカップ2位のペアに圧勝という結果でしたから、自信がつかえましたよ。

— レディースカップの全国大会は11月と聞いていたのですが...もう少し筋張っていられるかと思いましたが、すごくのんびりムード、さすがですね。

武谷 いえいえとんでもない。11月10日から13日ですからしうすぐです。東京都は、昨年準優勝なので今年は、とすごい意気込みなのです。個人戦と違って団体戦ですからちよつと気が重いなんですよ。いささかゾーンとしているんですよ。でもそんなこと言ってもらえんからね。今スマッシュとボレーの特訓中です。

— その特訓中というのでお聞きしたいことがあるのですが、家庭では良き奥様、二人のお子さんのお母様。その上お仕事をもっていらっしやる。それなのにテニスがすごい。もう完全に脱帽です。きつと大変な努力をなさつていられると思うのですが...

武谷 なにかものすごいスーパーウーマンみたいに言われちゃいましたけど、仕事とテニスはまあまあと云うけど家庭での奥さん、母親という面ではさあどうでしょうね。(お嬢ちゃんがそばにいてこの対談を聞いていたのだがなにも反論しなかつた所から察すると、いお母さまとこの証明といえやう)私ね、自己流な

んですけど、こんなことを毎日続けているのですよ。それは、素振りでもフォアボレー50回、バックボレー50回。それから腕立てふせ10回、腹筋運動を30回、足腰屈伸運動100回。ここまでワンセットとしても15分程でできるんですよ。何もコートに出て、テニスをやらなければなんてもまばらなくてもいくらでも気持ちよく鍛練できるわけね。要はふだんたゆまず努力することが大事なのですよ。だから素振りでもバックボレーをやっている。試合中思い切つて手を出して打とうという思いが出てくる。それが自信につながつていくと思えますね。それといつも私は思っているのですが、テニスはコートでコートを教えてもらうだけではないのだということ。勉強になること教えられることはどこにでもころがっているんですよ。私の足腰屈伸運動は息子から教えてもらったというようにね。素直にアドバイスを聞ける、いろいろなものを吸収しようという謙虚な気持ちが大事だと思いますね。

— ほんとうにそのとおりですね。これはテニスばかりじゃなく人生一般のことに言えることではありませんか。お忙がしいところほんとうに有難うございました。レディースカップ全国大会健闘祈つております。

<文責 広報部>

<自己紹介コーナー>

- 1.氏名 所属クラブ 男・女 生年月日(又は誕生日)
- 2.出身地(その特徴) 3.家族構成 4.テニス歴
- 5.他のスポーツ(現在又は過去にやった) 6.趣味
- 7.自分の特徴 8.今年の目標又は期待

NO.16

- 1.佐藤正和 思多クラブ 男 昭和22年2月5日(33才) 会社員
- 2.長野県佐久市に2才まで、その後杉並、練馬、12才より東村山に(卒業後1年間横浜に)
- 3.妻、長女(小1)、長男(4才)、両親と同居 4.約5年日位
- 5.野球、スキー 6.読書(含漫画)、スポーツ、レコード鑑賞、園芸、他多岐にわたる
- 7.いがいとねばり強い、出張が多いので練習に出れないのが残念
- 8.バックとサーブを無理なく打てること、特にトスが一定しないので、一球一球丁寧におぼえたい。

NO.17

- 1.広岡純二 美住クラブ 男 昭和30年1月8日(25才) 会社員
- 2.東京大和町(現東大和市)
- 3.両親、兄(別居)4人 4.2年(硬式)
- 5.スキー、夏山登山 6.ギター 7.ごく普通の人間ではないでしょうか。
- 8.すべてについてシンプルにしたい。

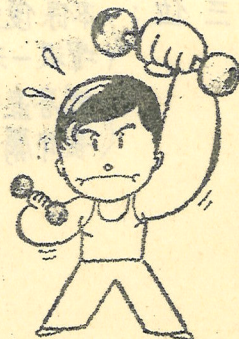
NO.18

- 1.中村克三 東住クラブ 男 57才 2.滋谷で育ち、戦後三多摩へ移住
- 3.妻、子供男女各1の4人
- 4.軟式前衛30年、硬式3年 5.卓球、野球
- 6.麻雀、パチンコ 7.家事一切駄目、テニスあるのみ、軟、硬2本立の為多忙
- 8.バックに自信をつけたい。

男子シングルス(A)

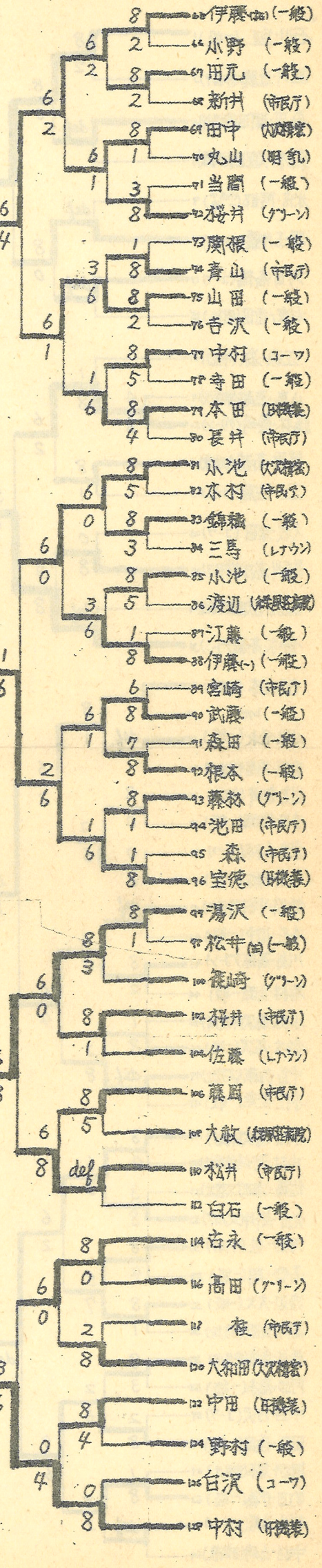
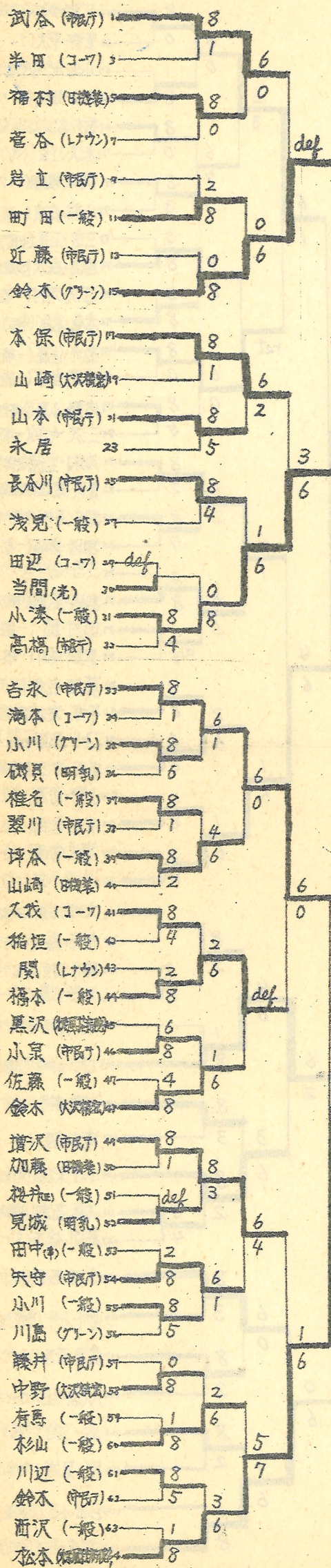
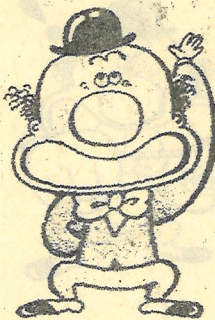
9月15日~23日

優勝: 中村行男
準々: 小湊
三位: 伊藤拓男
松本



2 0(1-6)2
467
11
635
1

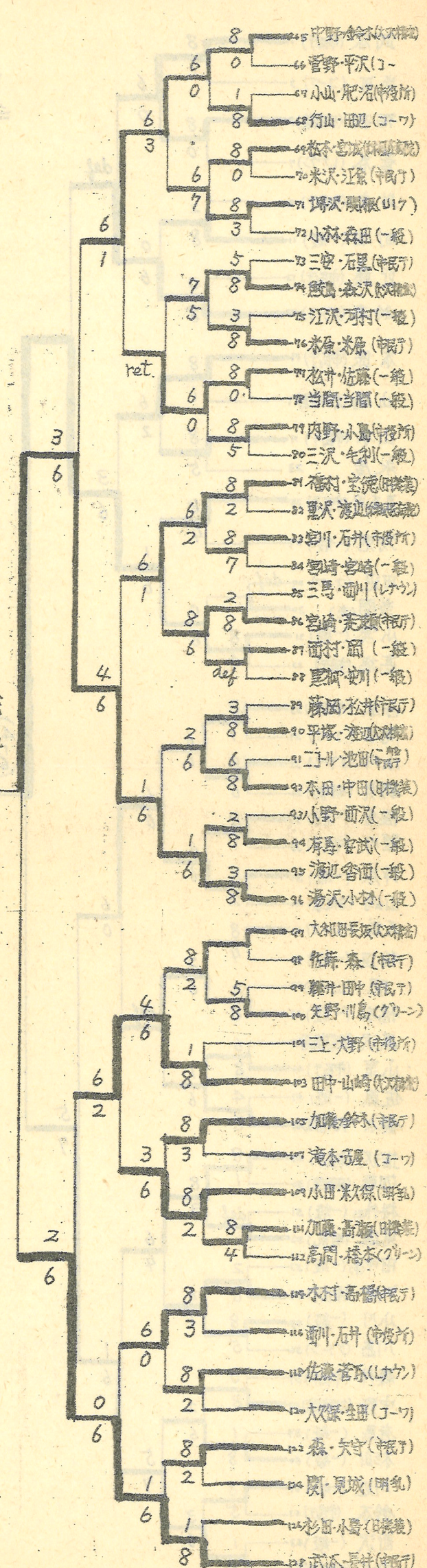
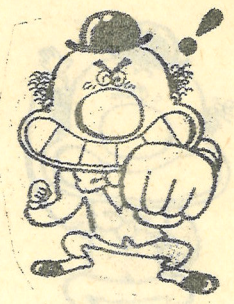
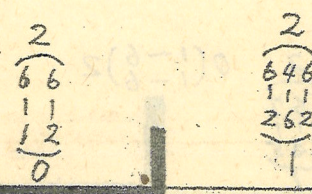
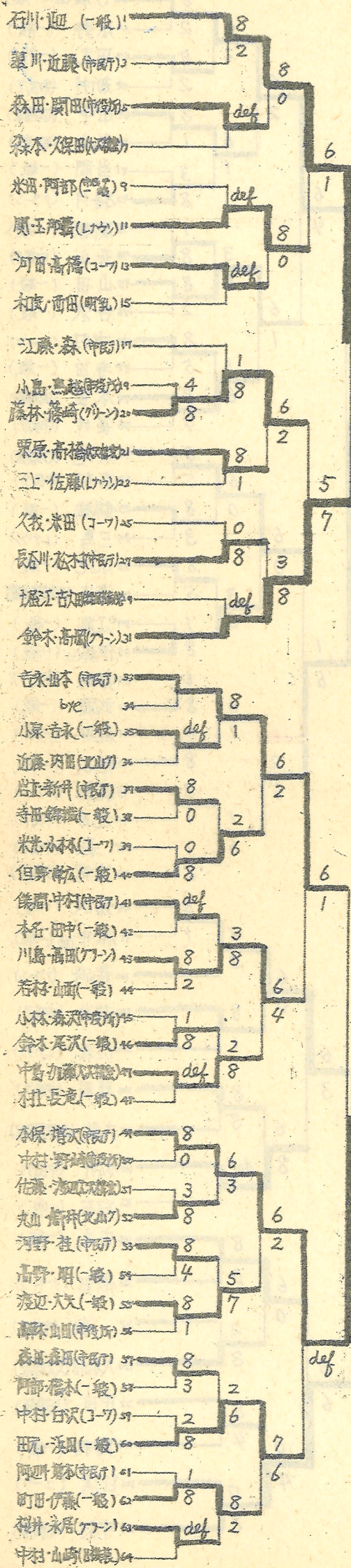
0
30
66
2



男子ダブルス

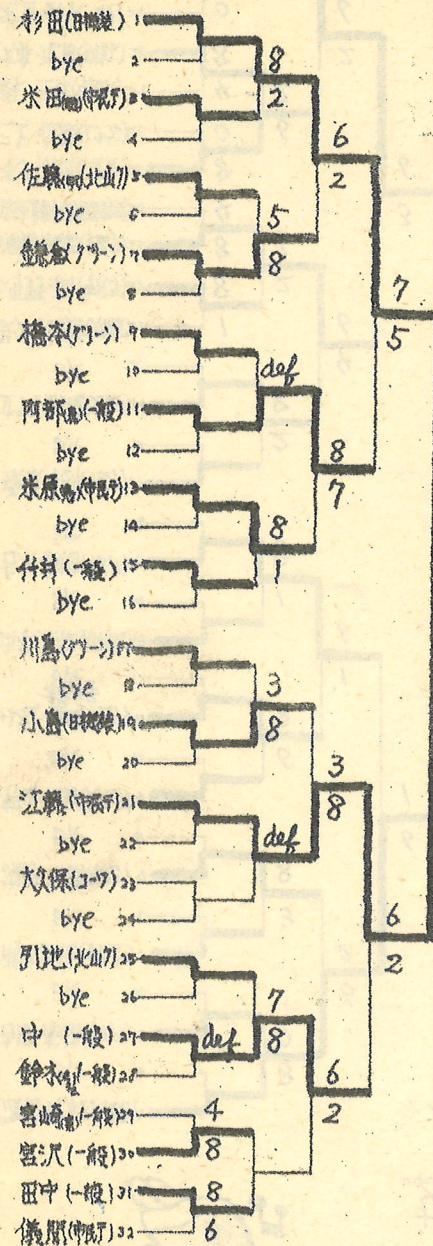
9月21日~28日

優勝: (石川 勝
迎 健一
準": (小林 義夫
湯沢 一人
三位: (本保 俊夫
増沢 一浩
武谷 直也
長井 庸二



男子シングルス(B)

9月23日

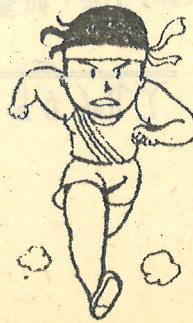


優勝: 渡辺
準々: 江藤
三位: 矢野 杉田

矢野(8-4) 杉田

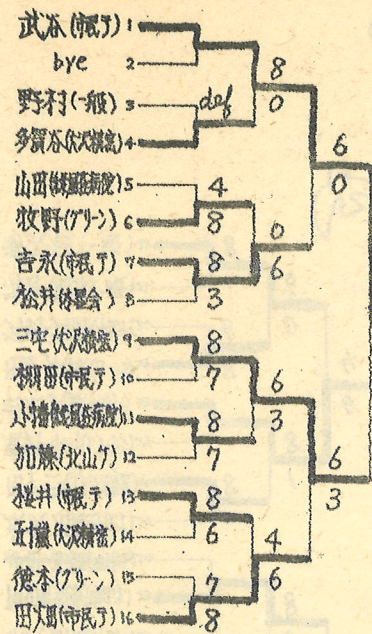
0(6-7) 2
0(1-6) 2

0(32 11 66) 2
2(76 11 62) 0



女子シングルス

9月28日

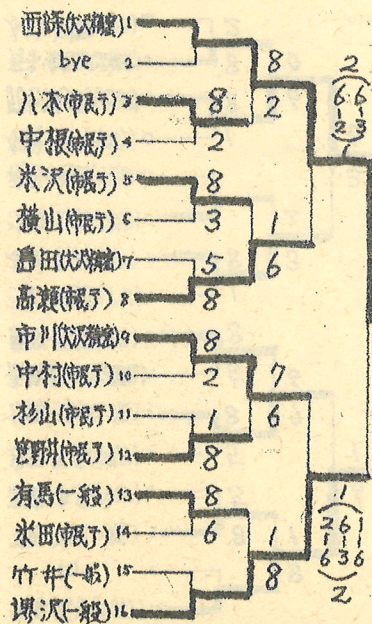


優勝: 武谷千枝子
準々: 坪谷房代
三位: 鍵山環子 三宅



壮年シングルス

9月28日



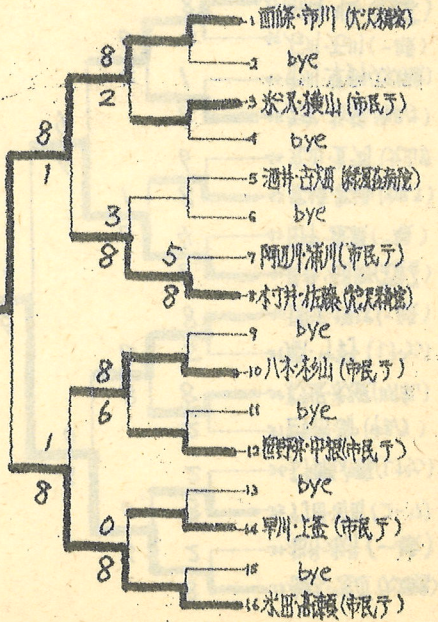
優勝: 西條昭夫
準々: 堺沢良
三位: 高瀬欣也 市川寛司

優勝: (市川) 西條
準々: (高瀬) 米田
三位: (杉山) 八木 (村井) 佐藤

杉山 2(6-1) 1 村井
八木 (5-7) 1 佐藤
6-3

壮年ダブルス

10月5日



1980.11.1

ガキト

NO. 45 (208)



女子ダブルス 10月5日

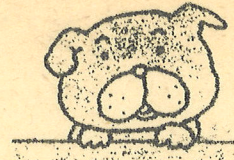
渡辺 梓奈(吹奏)	1	
bye	2	8
吉田 高穂(吹奏)	3	0
bye	4	6
雨宮 高穂(吹奏)	5	2
bye	6	3
渡辺 梓奈(吹奏)	7	8
bye	8	6
興山 高山(吹奏)	9	1
bye	10	6
小牧 洋子(吹奏)	11	8
by	12	1
山本 風花(吹奏)	13	6
bye	14	1
吉永 翔田(吹奏)	15	8
bye	16	8
森原 和洋(吹奏)	17	2
bye	18	6
立河 高穂(吹奏)	19	8
bye	20	4
長坂 玉穂(吹奏)	21	1
bye	22	6
河野 和洋(吹奏)	23	8
bye	24	2
徳丸 麻理(吹奏)	25	8
bye	26	6
山田 鈴奈(吹奏)	27	4
bye	28	3
本村 和洋(吹奏)	29	8
bye	30	6
三上 佐藤(吹奏)	31	0
bye	32	6
森 三枝(吹奏)	33	4
bye	34	2
大森 池田(吹奏)	35	8
bye	36	2
池田 鈴奈(吹奏)	37	0
bye	38	6
江原 石里(吹奏)	39	8
bye	40	3
遠藤 梨枝(吹奏)	41	4
bye	42	6
吉川 吉永(吹奏)	43	8

優勝 (武谷千枝子
武田恵美子)
準々 (坪谷房代
渡辺正子)
三位 (吉永
吉川真奈美
鍵山三宅)

0 (1-6) 2
3-6



吉永 2 (6-2) 0
吉川 (6-2) 0
鍵山 三宅



bye	1	8
34 栗原 下木(吹奏)	2	8
bye	3	6
35 本村 小祝(吹奏)	4	8
bye	5	8
36 福留 水穂(吹奏)	6	0
bye	7	6
37 酒見 藤栄(吹奏)	8	0
bye	9	6
38 渡辺 伊藤(吹奏)	10	1
bye	11	8
39 内野 久保(吹奏)	12	6
bye	13	5
40 岩崎 謙田(吹奏)	14	8
bye	15	8
41 田辺 儀間(吹奏)	16	8
bye	17	3
42 鍵山 三宅(吹奏)	18	8
bye	19	1
43 榎井 徳本(吹奏)	20	6
bye	21	1
44 有川 中根(吹奏)	22	8
bye	23	1
45 津田 万穂(吹奏)	24	4
bye	25	8
46 加藤 高穂(吹奏)	26	8
bye	27	1
47 八木 名崎(吹奏)	28	1
bye	29	8
50 北出 久保(吹奏)	30	3
bye	31	6
51 山田 福壽(吹奏)	32	2
bye	33	8
52 波多野 水奈(吹奏)	34	8
bye	35	0
53 渡辺 江崎(吹奏)	36	7
bye	37	8
54 菅原 井上(吹奏)	38	0
bye	39	6
42 野間 大次(吹奏)	40	0
bye	41	8
63 武谷 武田(吹奏)	42	8

混合ダブルス 10月12日

武谷 武田(吹奏)	1	8
bye	2	8
下田 内田(吹奏)	3	8
bye	4	5
高橋 和洋(吹奏)	5	5
bye	6	5
米田 下木(吹奏)	7	8
bye	8	7
伊藤 湯沢(吹奏)	9	5
bye	10	6
高橋 大次(吹奏)	11	8
bye	12	8
藤岡 藤岡(吹奏)	13	1
bye	14	8
三上 渡辺(吹奏)	15	8
bye	16	8
松井 和洋(吹奏)	17	1
bye	18	2
渡辺 山本(吹奏)	19	3
bye	20	6
池田 池田(吹奏)	21	1
bye	22	8
榎井 本村(吹奏)	23	8
bye	24	0
河野 波多野(吹奏)	25	8
bye	26	2
吉永 鈴山(吹奏)	27	8
bye	28	0
本村 田辺(吹奏)	29	2
bye	30	8
平沢 鈴山(吹奏)	31	4
bye	32	8
本原 江川(吹奏)	33	1
bye	34	8
須崎 尾崎(吹奏)	35	8
bye	36	6
尾崎 高穂(吹奏)	37	4
bye	38	3
佐藤 佐藤(吹奏)	39	8
bye	40	5
米沢 高穂(吹奏)	41	8
bye	42	8
阿部 梨枝(吹奏)	43	0
bye	44	6
小田 高穂(吹奏)	45	2
bye	46	8
米沢 石里(吹奏)	47	8
bye	48	1
田中 三宅(吹奏)	49	8
bye	50	6
菅野 市川(吹奏)	51	8
bye	52	4
吉永 武田(吹奏)	53	8
bye	54	6
田辺 久保(吹奏)	55	8
bye	56	0
河野 河野(吹奏)	57	1
bye	58	6
湯沢 桂(吹奏)	59	8

優勝 (武谷
準々 (西條
坪谷
三位 (吉永 洋司
武田恵美子
鈴木 英一
渡辺 正子)

2 (6-3) 0
6-3

三位
吉永 (8-2) 鈴木 渡辺

8	33 鈴木 渡辺(吹奏)	
6	2	34 松井 和洋(吹奏)
0	8	35 行田 雨田(吹奏)
6	2	36 玉野 初穂(吹奏)
0	2	37 世野 御(吹奏)
3	8	38 米沢 米沢(吹奏)
6	5	39 原 中野(吹奏)
8	8	40 澤沢 澤沢(吹奏)
8	8	41 長井 本野(吹奏)
6	4	42 田中 遠藤(吹奏)
1	8	43 宮崎 宮崎(吹奏)
6	6	44 丸山 立河(吹奏)
8	8	45 矢野 折橋(吹奏)
2	1	46 寺川 華野(吹奏)
6	4	47 石川 石川(吹奏)
8	8	48 高橋 川島(吹奏)
8	8	49 江原 江原(吹奏)
5	1	50 中村 内野(吹奏)
8	8	51 加藤 湖田(吹奏)
6	8	52 本村 栗原(吹奏)
2	8	53 関 加藤(吹奏)
8	2	54 浦川 山口(吹奏)
2	2	55 葉天 葉田(吹奏)
0	6	56 中野 玉穂(吹奏)
8	8	57 青山 吉永(吹奏)
6	3	58 佐藤 小祝(吹奏)
2	6	59 藤岡 儀間(吹奏)
8	8	60 佐藤 三上(吹奏)
1	8	61 中根 中根(吹奏)
2	8	62 吉永 吉永(吹奏)
8	8	63 武谷 武田(吹奏)
8	8	64 西條 坪谷(吹奏)

